

# 法政大学 vs 産業能率大学

9月28日(日)  
11:30K.O.  
法大 G

後期、初の黒星を喫した法大と、後期まだ勝星のない産能大との対戦。上位を争う法大、最下位に転落してしまつた産能大とも、もう落とせない大事な試合だ。

法大は前節、東洋大と接戦の末2-3で敗れた。後期は2試合とも先制されながら3点を奪い逆転勝利というパターンだったが、前節は21分、27分と立て続けに2点を献上。それでも、破壊力を増した攻撃力で前半終了間際と後半開始直後に得点し46分で試合を振り出しに戻したが、昇格争いへの参戦のためにはもう負けられないという東洋大の執念の前に、再び勝ち越しを許した。

「後半1分で追いついたあとパワーを出し切れなかった。隙を見せたり、相手のほうが球際の強さや切り替えも良かった」と、長山一也監督も運動量の落ちなかった相手を称えた。良さが出せなかった訳ではないが、不要なFKを与えるなど3失点は課題。「守備から迫力を持たせていきたい」(長山監督)。ここから仕切り直しだ。

対する産能大は前節も神大に0-1で敗れ、後期開幕から3連敗。すべて1点差の惜敗だが、3試合で1得点と攻撃面の不振が深刻だ。第12・13節は不在だったU-19日本代表のFW越智大和(1年)が出場したものの、10本のシュートはゴールにつながらなかった。「守備

は粘り強くできていた。それ以上に点が取れないことが問題」(加藤望監督)。試合終盤に神大に退場者が出たが、攻め切ることはできなかった。今季は大量失点も喫した神大の攻撃を1点に抑えたが、今節も攻撃力を持つ法大が相手。押し込まれても引き過ぎず、いかに高い位置でボールを奪えるか。浮上のきっかけをつかみたい。  
**<出場停止>西室隆規(法大) / 3回警告:青島拓馬・永戸勝也(法大)、楠元秀真・見留耀太・須永亮(産能大)**  
**<前期の対戦>法大2-2産能大**

法大	産能大
2. 永戸	15. 杉崎
14. 白石	26. 桜井
22. 田代	19. 石渡
5. 山口	8. 浜下
21. 富澤	9. 越智
10. 高橋	10. 見留
9. 相馬	1. 森谷
29. 黒柳	32. 木下
26. 伊藤	4. 楠元
24. 上田	17. 岡村
6. 星	6. 遠藤

# 神奈川大学 vs 日本大学

9月28日(日)  
13:50K.O.  
法大 G

退場者を出しながら後期初勝利をもぎ取った神大と、連勝が途切れた日大との対戦。再び首位に勝点2差と迫った神大だが、2人の出場停止者を抱え、後期無敗の日大から白星を挙げられるか。日大は神大を倒せば昇格争いの背中が見えてくる。好調ぶりを発揮できるか。

神大は前節、産能大に1-0と薄氷の勝利。それでも後期ようやくの白星ということもあって、「長いトンネルを抜けた」と松永道敬総監督もホッとした表情であった。先制しながら逆転、同点を許す試合が続いていたが、産能大戦では1点を死守。攻めながら2点目を奪えなかったこと、ファールが多かったことなど課題は多いものの、今はまず1つの白星でチームの雰囲気を変えたいところ。出場停止への対応は、ケガ等の影響もあって経験済みだが、日大の好調な攻撃をいかに抑えるか。「サイド攻撃に気を付けて守備をしっかりやりたい」(松永監督)。一方で後期は1試合1得点にとどまっている攻撃陣の爆発力にも期待したい。

対する日大は前節、拓大と好調同士の対戦でお互いに決定機をモノにできず、スコアレスドローに終わった。「立ち上がりは圧倒された部分もあったが我慢でき、我慢しながら自分たちのペースにすることができた」と川

津博一監督も一定の評価を与えたが、前期終盤から4試合連続で複数得点を記録してきた攻撃陣もこの日は決定力不足。前線の選手の流動的な動きで相手DFラインの裏を狙ったが、シュートは少なかった。今節は昇格ラインとなる2位の神大が相手だけに、しっかり攻め切って上位の争いに定着していきたいところだ。

**<出場停止>杉山祐亮・伏木一紘(神大) / 3回警告:長野祐太(神大)、成瀬琢斗(日大)**  
**<前期の対戦>神大1-0日大**

神大	日大
3. 高木	29. 高田
11. 星	7. 廣田
4. 藤原	3. 奥村
16. 武田	19. 高山
10. 伊東	13. 中野
24. 鈴木	9. 宇都宮
6. 前田	10. 小林
29. 南	2. 長谷川
32. 岡田	14. 成瀬
7. 長野	6. 中村

\* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています \*

# JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦

**if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM**  
 Division2 2014-NO.15  
 編集:五味亜矢子 発行:(一財)関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ



## 後期全勝チームなくなる!

JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦・2部リーグは、後期序盤の3試合を終えて全勝チームがなくなり、昇格争い、残留争いともに風雲急を告げてきた。上位では、首位の関学大が平国大に0-1で、3位の法大が東洋大に2-3で敗れ、4位の拓大は日大との好調チーム対決で0-0の痛み分け。2位の神大は産能大に1-0で勝利し、1・2位の差が再び縮まってきた。そして、その“昇格圏内”を狙って拓大、法大、東洋大の3チームが勝点2差で争っている。また、東農大を2-1で破った青学大、東学大に0-2で敗れた日体大もまだ追い上げていく可能性はある。一

得点ランキング		アシストラランキング	
9: 星子直哉(平国大)	7: 大森勇希(拓大)	5: 菅沼優聖(関学大)	4: 全2名
8: 遊馬将也(東洋大)	5: 伊東純也(神大)	仙頭啓矢(東洋大)	
7: 宮際敬真(関学大)	伊東純也(神大)	恵龍太郎(青学大)	
菅沼優聖(平国大)	仙頭啓矢(東洋大)	小林玲櫻(日大)	
中野春樹(日大)	恵龍太郎(青学大)		
6: 中村瞬(関学大)	小林玲櫻(日大)		
成瀬琢斗(日大)			

方、下位では後期に入って首位チームを2度破った平国大が最下位を抜け出し、勝点差が縮まってきた残留争いも今後の動向が注目される。

## JR 東日本カップ 2014 第 88 回関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第14節終了時。上段が前期の対戦結果)

順位	2部	関学大	神大	拓大	法大	東洋大	青学大	日体大	日大	東学大	東農大	平国大	産能大	勝数	負数	分数	得点	失点	得失	勝点
1	関学大	302 11/15	200	201	102	104	202	402	300	201	500	303	100	9	3	2	31	18	13	29
2	神大	203 日体大G	400	301	001	202	000	100	301	300	503	400		8	3	3	30	14	16	27
3	拓大	002 古河	004 横須賀	003 10/19	200	303	200	200	003	100	500	100		7	4	3	19	16	3	24
4	法大	102 横須賀	103 法大G	300 味スタ西	200	202	000	404	200	100	000	202		6	3	5	26	18	8	23
5	東洋大	201 002	100 青学大G	002 法大G	002	002	101	102	001	001	100	302	400	7	6	1	19	17	2	22
6	青学大	401 産能大G	202 青学大G	303 産能大G	202	103 夢の島	200	201	002	300	101	001		5	4	5	24	21	3	20
7	日体大	202 江戸陸	000 保土ヶ谷	002 日体大G	000	201	002	000	100	100	101	401		5	4	5	15	16	-1	20
8	日大	204 日体大G	001 法大G	002 平国大G	404	100	102	000	200	101	101	300		5	5	4	20	18	2	19
9	東学大	003 東洋大G	103 日体大G	300 法大G	002	100	200	001	002		001	302	101	5	8	1	15	21	-6	16
10	東農大	102 産能大G	003 101	001 101	001	001	003	101	101	100		100	500	3	7	4	13	17	-4	13
11	平国大	005 100	305 201	005 002	000	203	101	102	200	203	001		406 11/15	3	9	2	18	34	-16	11
12	産能大	303 001	004 001	001 産能大G	202	004	100	104	003	101	005	604 産能大G		2	9	3	15	35	-20	9

体育会学生のための  
**リクナビ就職エージェント**  
**負けたら、立ち上がるだけだ。**  
 部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
 リクナビ 体育会



# 青山学院大学 vs 平成国際大学

9月27日(土)  
11:30K.O.  
日体大G

後期初勝利で6位に浮上した青学大と、後期2勝目についに最下位を抜け出した平国大との対戦。このまま上昇気流に乗っていききたい両チームの対戦だ。前期は1-1で引き分けているが、どちらが勝負を決めるか。

青学大は前節、東農大と対戦して2-1で逃げ切った。先制しながら逆転される試合展開で2連敗を喫しており、「一人ひとりが相手に対応する責任を自覚し、受け身になる時間を減らしたかった」と福永泰コーチが話したように、前線から積極的な出足を見せ、高い位置でボールを奪い、またセカンドボールを拾ってチャンスにつなげた。MF伊藤光輝(2年)が前目にポジションを取ったことも攻撃面では功を奏し、7分での先制のあと、前半で2点目を奪えたことも大きな勝因。後半に、苦手意識のある高さの競り合いから1点を奪われたものの、「1失点で踏みとどまれたのは今日の試合の重要性を選手がわかっていたから。今後も強気なゲームをすることが必要」(福永コーチ)。

一方の平国大は前節、首位の関学大に1-0で勝利。後期開幕戦では当時首位だった神大を破っており、最下位とはいえ上位チームに対抗できる力を十分に持っていることを示した。もともとオプショナルとしてトレーニン

グしていたという3-4-3のシステムで、この日は運動量でも引けを取らず、首位チームにスペースを与えず思い通りのプレーをさせなかった。「前期はできなかった、リードして逃げ切る試合を首位チーム相手にやり遂げてくれた。自分たちの良さを生かせた」(西川誠太監督)。上位から対戦している後期は既に2勝1敗。この勢いで、一気に降格圏脱出を目論む。

<3回警告>尾林一輝(平国大)  
<前期の対戦>青学大1-1平国大

青学大	平国大
6. 服部	32. 鈴木
7. 荒木	5. 小松崎
3. 御牧	15. 須貝
18. 山田	22. 横瀬
1. 高橋	9. 星子
8. 伊藤	6. 鎌田
4. 後藤	21. 馬屋原
29. 上村	7. 尾林
13. 澤井	20. 村川
10. 関谷	2. 増田
2. 堤	25. 玉田

# 東洋大学 vs 東京農業大学

9月27日(土)  
11:30K.O.  
東洋大G

好調の法大を破って5位に浮上した東洋大と、後期初黒星ながら勝星もなく、10位に後退した東農大との対戦。「今シーズン一番と言っている」(古川毅監督)という試合で波に乗り、昇格争いへの参戦を目論む東洋大に対し、後期初勝利を狙いたい東農大がどう挑むか。

東洋大は前節、法大を3-2で振り切り、後期2勝目を挙げた。昇格争いに向け、東洋大にとって重要な一戦となった試合は、立ち上がりから意気込みの違いを見せつけ、気持ちの面で相手を圧倒。21分にFKから先制すると、27分にも追加点を奪った。前半終了間際と後半開始早々に失点して一時は追いつかれたものの、守備から攻撃に切り替わった際のサポートやスピードは落ちることなく、58分に再びリードを奪った。「追い付かれてもリードを許さず踏みとどまれた。法大相手に勝ち切れたのは大きい、まだ昇格圏内にいる訳ではない。いつもこのような試合の入り方をしたい」(古川毅監督)。

一方の東農大は前節、青学大に1-2で敗れた。後期は2試合連続1-1の引き分けだったが、これでまだ後期の勝利がなく、順位も後退。前期の戦いもそうだったが、1点は取れるものの勝ち切れない苦しさがある。また、後期はすべて先制点を許す展開となっており、追い

上げも1点止まりに終わっている。秋吉保浩監督も「前向きな守備はできていると思うが、序盤でスイッチが入るのが遅い先制点を取れば流れが変わるかもしれないが…」と嘆いた。夏場には得点を取ることを意識付けをしてきたというが、今は先に失点してしまう悪循環が続いている。いかに先行する展開に持ち込むかが課題だ。

<3回警告>小山大貴・遊馬将也(東洋大)、小田原貴・金裕志(東農大)  
<前期の対戦>東洋大1-0東農大

東洋大	東農大
2. 池田	2. 中西
10. 平石	22. 倉林
12. 瀧澤	9. 相川
25. 徳市	20. 加藤
1. 浅沼	10. 浜田
20. 仙頭	21. 松尾
18. 遊馬	
7. 齊藤	25. 金
4. 郡司	5. 櫻岡
8. 小島	23. 山本
16. 石坂	14. 石川
	3. 加藤

# 拓殖大学 vs 日本体育大学

9月27日(土)  
13:50K.O.  
日体大G

後期1勝2分と黒星のない拓大と、1勝2敗と黒星が先行してしまった日体大との対戦。勝って昇格圏に肉薄したい拓大に対し、昇格争いを狙うためには正念場の日体大が前期の雪辱を晴らすことはできるか。

拓大は前節、日大と対戦してスコアレスドローに終わり、後期初戦勝利のあと2試合連続の引き分け。法大の敗戦により3位に浮上したものの、やや勝ち切れないもどかしさが残るゲームであった。連勝中の日大に対し、序盤は先手必勝とばかりに攻め込んだが、チャンスを作りながら得点には至らず。逆に、守備面では好調の日大攻撃陣を運動量と的確なカバーリングで防ぎ、後期3試合で1失点と安定感を見せている。玉井朗監督も、「サイドから崩されてボールを入れられることもあったが、カバーリングがしっかりできていた」と守備面は評価したが、攻め切れなかったことは一つの課題。本格的な昇格争いに向け、できる限り勝点を稼いでおきたい。

一方の日体大は前節、連敗中の東学大に0-2で敗れた。試合内容はそれほど悪くないものの、一つのミスから相手に得点を与えた「自滅」と言える試合展開となってしまう、倉又寿雄監督も「前半で2点を取られたらきつい。取られ方が悪く、焦ってミスを重ねる。悪いとこ

ろがすべて出てしまった」と嘆いた。単純なキックミスから与えたボールをゴールにつなげられ、さらにセットプレーから4分後に2失点目。この連続失点で試合は決まってしまった。トップ下に2人を並べる形で中盤のボール回しのテンポは良くなっているだけに、先制点を奪う展開に持ち込みたい。

<3回警告>三浦勇人・多田和明(拓大)、藤井貴之・ンドカ ポニフェイス(日体大)  
<前期の対戦>拓大2-0日体大

拓大	日体大
13. 新山	26. 福田
7. 大森	11. 小山
6. 紙谷	29. ンドカ
5. 谷之口	25. 輪笠
1. 佐川	17. 高井
19. 森川	23. 小泉
18. 河野	1. 伊藤
20. 川崎	24. 大石
3. 三浦	13. 増谷
4. 小針	18. 川戸
16. 高橋	2. 高野

# 関東学院大学 vs 東京学芸大学

9月27日(土)  
13:50K.O.  
東洋大G

連勝が途切れた関学大と、連敗が途切れた東学大との対戦。前期は関学大が快勝しているが、東学大も徐々に内容は上向きで結果がついてきただけに、接戦になることが期待される。

関学大は前節、最下位の平国大に0-1で敗れ、リーグ戦では第8節以来の黒星を喫した。3-4-3のシステムを敷き、豊富な運動量で対応してきた平国大の前に、窮屈なプレーを余儀なくされ、シュートは打っているものの決定的なチャンスは後半の数本に抑えられた。「使いたいスペースやタイミングを消され、意図する形をあまり出させてもらえなかった。後半は修正して対応できたが、不用意なミスでボールを失ってしまった」(石村大監督)。58分に先制点を与えると、終盤は攻め立てたものの、5バック気味に守備の厚くなった相手を崩し切れなかった。今季初の無得点試合となり、選手はショックも感じたようだが、内容的にバランスは悪くない。連敗しないことが重要だ。

対する東学大は前節、日体大に2-0と完勝し、後期初勝利、こちらは第8節以来の白星を手にした。連敗中とはいえ、立ち上がりから積極的な試合運びで出足も良く、徐々に相手にプレッシャーを与えてミスを誘った。

後期は逆転負けが続いていたが、23分の先制のあと27分にセットプレーから奪った2点目が大きかった。「負けていてもアグレッシブにコンパクトにやれていて、手応えはあったが結果が伴わなかった。息切れしないようなペース配分が課題」(檜山康監督)。決定力不足に泣いた攻撃は改善傾向にある。コンパクトな守備で首位チームに対抗し、最少失点に抑えたい。

<3回警告>なし  
<前期の対戦>関学大3-0東学大

関学大	東学大
16. 木村	5. 廣木
8. 普光院	18. 久保
3. 原島	9. 山田
9. 富樫	4. 脇本
7. 太田	7. 平田
1. 井田	1. 須賀
23. 長谷川	15. 木下
19. 山口	11. 五十嵐
22. 井上	21. 永井
14. 三橋	16. 富澤
6. 福澤	2. 吉田